

ベリーズ犯罪等発生状況（令和8年4月分）

[殺傷事件・銃撃事件関連]

4月6日[銃撃事件] 午前4時頃、ベリーズ郡キーカーカー島のランゴスタ通りにおいて銃撃事件が発生した。警察によると、同通りを警官2名がパトロールしていたところ、覆面をした3人の男が乗った三輪貨物車が通り過ぎるのを発見し、警官は追跡を開始した。追跡開始直後、容疑者のうちの1人がパトカーに向けて発砲し、警官らはこれに応戦した。銃撃を交えた追跡は埠頭まで続き、容疑者らは車両ごと海へ飛び込み、近くに待機していたボートに乗って逃走した。

4月7日[銃撃事件] 午後7時頃、ベリーズ市レゲエ通りにおいて、男性（25歳）が銃撃されて重傷を負う事件が発生して。警察によると、被害男性は同通り沿いに車を停めていたところ、フードで被った不審男性が近づき、突然発砲した。被害男性はこの銃撃により重傷を負い、カール・ヒュースナー・メモリアル・ホスピタル（KHM病院）へ緊急搬送され手術を受けたが、危篤状態が続いている。

4月11日[銃撃事件] 午後5時40分頃、ベリーズ市アマラ通りにおいて、男性（33歳）が銃撃される事件が発生した。警察によると、通報を受けた警官が現場へ到着すると、被害に遭った男性と合流した。被害男性にケガは無く、覆面をした不審者に突然発砲されたが、近くの民家に逃げ込み難を逃れた。警察は現場から複数の薬莢を回収し、周辺地域も捜索したが、容疑者を特定することはできておらず、捜査が続いている。

4月11日[銃撃事件] 午後7時頃、ベリーズ郡レディビル村において、男性（28歳）が銃撃され負傷する事件が発生した。警察によると、被害男性が自宅で過ごしていたところ、覆面をした不審者が突然押し入り、発砲した。被害男性は腹部に銃創を負い、通報を受けて駆けつけた警官によりKHM病院へ緊急搬送された。この銃撃事件の状況について、情報が少なく目撃証言もないため、警察の捜査が続いている。

4月21日[銃撃殺人] 午後7時頃、コロザル郡コロザル町のレインボー・ビーチ地区において、住民の親子が銃撃され父親が死亡する事件が発生した。警察によると、被害に遭った親子が自宅の外で過ごしていたところ、拳銃を持った不審者が近づき突然発砲し、逃走した。この銃撃で父親は複数箇所銃弾を受け、コロザル・コミュニティ病院へ搬送されたが、1時間後に死亡が確認された。

4月22日[銃撃殺人] 午前2時頃、ベリーズ郡バレル・ブームとハッティビル道におい

て、男性（19歳）が銃撃され死亡する事件が発生した。警察によると、被害男性と連絡が取れなくなった交際相手の女性が携帯電話の位置情報から被害男性の居場所を特定し、被害男性の兄弟と共に位置情報の場所へ到着したところ、複数の銃創を負った被害男性の遺体を発見した。その後、通報を受けた警察は遺体を回収した。事件の捜査が続けられている。

4月26日[銃撃事件] 午後5時30分頃、ベリーズ郡グレイシー・ロック村のサミュエルズ農場において、女性（24歳）が銃撃され負傷する事件が発生した。警察によると、被害女性が帰宅するために農場の門を開けたところ、突然、右臀部に焼けるような激しい痛みを感じた。被害女性は自ら救急へ通報し、KHM病院へ搬送され治療を受けた。その後、警察が現場周辺を捜査したが、使用済みの薬莢は発見できなかった。また、近隣住民らは銃撃犯を目撃しておらず、銃声も聞こえなかったと警察へ報告した。

4月28日[銃撃殺人] 午後4時30分頃、オレンジウォーク町のパイン・リッジ道において、殺人事件が発生した。警察によると、銃撃事件発生の通報を受け、警官が現場へ到着すると、右肩に銃創を負った配達員の男性A（25歳）と、銃撃により意識不明の相勤者の男性B（42歳）を発見した。男性AとBは北部地域病院へ救急搬送され、治療を受けた男性Aの容態は安定したが、男性Bは搬送後、死亡が確認された。

[強盗事件・窃盗事件関連]

4月4日[空き巣事件] 午前4時から午後3時頃にかけて、ベリーズ市アンテロープ・ストリート・エクステンションの住宅において、空き巣事件が発生した。警察によると、この家に住む男性が留守の間に犯行が行われ、帰宅した被害者がドアの南京錠が破壊されているのに気づき、警察へ通報した。盗まれたのは携帯電話及び工具類で、推定被害総額は500ベリーズドル（約3万7千円）だった。

4月4日[空き巣事件] 午後3時から翌午前5時頃にかけて、ベリーズ市ダグラス・ジョーンズ通りの住宅において、空き巣事件が発生した。警察によると、この家に住む女性が留守の間に犯行が行われ、帰宅した被害者が施錠したドアが開いているのに気がつき、警察へ通報した。盗まれたのは現金及び小型ガスボンベで、推定被害総額は1,585ベリーズドル（約12万円）だった。

4月4日[窃盗事件] 午後8時頃、カヨ郡サン・イグナシオ町において、オートバイが盗まれる事件が発生した。警察によると、被害女性は妹と同町のイースター祭に行き、会場の駐車場へオートバイを駐車して鍵をかけた。その後、帰宅するため祭り会場を出て駐車場に戻

ったところ、オートバイが盗まれている事に気がつき、警察へ通報した。推定被害総額は2,800ペリーズドル(約21万円)だった。なお、被害女性の他にも、この駐車場に停めていたオートバイ数台が盗まれており、警察が捜査を続けている。

4月4日【**空き巣事件**】 午後6時から6日午後6時頃にかけて、オレンジウオーク町の住宅において、空き巣事件が発生した。警察によると、この家に住む一家が留守の間に犯行が行われ、帰宅した一家が窓にこじ開けられた形跡を発見し、警察へ通報した。盗まれたのは現金と金の首飾りで、推定被害総額は7,000ペリーズドル(約54万円)だった。なお、警察は容疑者を特定しており、現在行方を追っている。

4月5日【**窃盗事件**】 午後5時頃、ベリーズ郡サン・ペドロ町のサン・マルコス地区において、トラクターが盗まれる事件が発生した。警察によると、現地の不動産業者である被害男性は、フェンスで囲まれた顧客の私有地にトラクターを止め、入口をチェーンと南京錠で施錠していた。翌日、保管場所へ戻った被害男性がチェーンと南京錠が破壊されているのに気がつき、警察へ通報した。この事件の推定被害総額は8万ペリーズドル(約624万円)だった。

4月8日【**武装強盗事件**】 午後8時頃、スタンクリーク郡ダングリガ町の住宅において、強盗事件が発生した。警察によると、被害女性が自宅で過ごしていたところ、拳銃を所持した男が家に押し入り、金銭を要求した。命の危機を感じた被害女性は、強盗犯の要求に応じ、金銭を差し出した。強盗犯は現金の他、アクセサリー類等を奪い、逃走した。この事件の被害総額は505ペリーズドル(約3万9千円)だった。

4月9日【**侵入窃盗事件**】 午前3時頃、カヨ郡サンタ・エレーナ町のププサ(中米の伝統料理)レストランにおいて、侵入窃盗事件が発生した。警察によると、出勤した店のオーナーが夜間の防犯カメラ映像をチェックしていたところ、不審な男性が店に出入りしていたのを見出し、警察へ通報した。店からは食材等が盗まれており、被害総額は不明とされている。

4月11日【**強盗事件**】 午後1時頃、ベリーズ市ウェスト・コレット運河沿いの露天商において、強盗事件が発生した。警察によると、貴金属類の露天商を営むベリーズ系アメリカ人の被害女性が屋台を片付けていたところ不審な男性2名が近づき、被害女性の顔を殴る等の暴行を加え、店から品物を奪って逃走した。この事件で金のネックレス数点が盗まれ、被害総額は1万5千ペリーズドル(約117万円)だった。警察は近隣の防犯カメラの映像から容疑者を特定しており、現在、行方を追っている。

4月21日【**侵入窃盗事件**】 午後7時30分頃、ベリーズ市マリンパレード沿いにある

ゴールデン・ベイ（ホテル兼雑貨、食料品店）において、侵入窃盗事件が発生した。警察によると、未完成のホテルエリアを建設中の作業員が部屋（同建物の2階）で就寝中、戻ってきたルームメイトの男性に起こされ、部屋から貴重品が無くなっていることを知らされた。盗まれたのは、携帯電話、現金と身分証の入った財布、衣類等で、推定被害総額は575ペリーズドル（約4万4千円）だった。

4月22日[武装強盗事件] 午後4時30分頃、ベリーズ市イースト・キャナル沿いのバス停において、武装強盗事件が発生した。警察によると、バスの運転手がバス停に停車したところ、拳銃を所持した男性2名がバスに乗り込み、運転手を襲撃した。強盗犯らは、運転手から現金の入ったポーチを強引に奪い、ウォーター・レーン方面へ逃走した。なお、奪われたのは当日の売上金400ペリーズドル（約3万円）だった。

4月26日[侵入窃盗事件] 午前7時頃、ベリーズ郡ウェスタンパラダイス村の近くにあるプロッサー・フェアティライザー・アグロテック社（肥料・農業資材業者）において、侵入窃盗事件が発生した。警察によると、事務所の裏口がこじ開けられ、事務所内からテレビモニターや米ドル紙幣の入った現金袋がぬすまれていた。事件は同社の従業員が出勤した際に建物内が荒らされている事に気がつき発覚した。詳しい被害総額は不明とされ、警察は当時勤務していた警備員2名を重要参考人として警察署へ連行した。

4月26日[強盗事件] 午後8時45分頃、ベリーズ郡ローズ・バンク村において、強盗事件が発生した。警察によると、被害に遭ったのは看護師兼ベリーズ国防軍の女性と警察官の女性で、勤務を終え帰宅していたところ、拳銃を所持した男性に突然襲撃された。被害女性らは、携帯電話、銀行カードと現金の入った財布を奪われ、推定被害総額は3,800ペリーズドル（約30万円）だった。

4月27日[強盗事件] 午後6時15分頃、ベリーズ市デイリー通り沿いにあるペーショップ（電子タバコ店）において、強盗事件が発生した。警察によると、警察官を名乗る2人の強盗犯（27歳、26歳）が拳銃を持って店に押し入り、現金と電子タバコを強奪して逃走した。その後、通報を受けた警察が追跡を開始し、ヒューズナー・クレセント地区で容疑者らを逮捕した。

4月28日[侵入窃盗事件] 午前8時頃、ベリーズ市のブルーマーリン・ブルーバード沿いにある診療所において、侵入窃盗事件が発生した。警察によると、被害に遭った診療所の院長が出勤した際に、事務機の引き出しがこじ開けられ荒らされていることに気がついた。警察へ通報し院内を調べたところ、HP製のノートパソコンとオフィスの電話、外付けハードドライブ、複数のUSBポート、現金847ペリーズドル（約6万5千円）が盗まれていた。

4月29日[窃盗事件] 午前1時頃、ベリーズ市南部地域の栈橋において、小型ボートが盗まれる事件が発生した。警察によると、被害に遭ったボートの所有者が自宅で過ごしていたところ、栈橋に設置していた防犯装置から警報音が鳴り、警察へ通報した。通報を受けた警察が現場へ到着したところ、グラスファイバー製の小型ボートが盗まれていた。この事件の推定被害総額は1万5千ベリーズドル（約115万円）だった。

[違法薬物・違法銃器類関連]

4月2日[違法薬物所持] 午後11時30分頃、ベリーズ市ウェスト・キャナルにある住宅において、男性（25歳）が規定量（10グラム）以上のマリファナを所持していたとして逮捕、起訴された。警察によると、同市内をパトロール中だった警官が挙動不審な男性を発見し、所持品検査を行ったところ、73グラムのマリファナを所持していた。後日、ベリーズ地裁へ出廷した被告は、罰金505ベリーズドル（約3万8千円）が科せられたが、被告は過去、同様の有罪判決による罰金1,460ベリーズドル（約11万円）が未払いだったため、ベリーズ中央刑務所で1年間の禁固刑となった。

4月3日[麻薬密輸事件] 未明、メキシコのキンタナ・ロー州チェトゥマル市において、ベリーズ人男性がマリファナを密輸したとしてメキシコの警察当局に逮捕された。警察によると、同市のバヒア大通りをパトロール中だった警官が、ベリーズのナンバープレートをつけた車両に警察犬が反応したことを不審に思い、車両を調べたところ、マリファナの入った大きな黒い包み（大型のスーツケースぐらい）を4つ発見した。メキシコ当局は、容疑者をベリーズからメキシコへの麻薬密輸の運び屋と見て詳しく調べている。

4月5日[違法薬物所持] 午前10時頃、ベリーズ市セメタリー道において、少量の粉末コカインを所持していたとして男性（21歳）が逮捕、起訴された。警察によると、同地域をパトロール中だった警官が、上半身裸で自転車に乗り、蛇行運転している男性を見かけ、呼び止めて身体検査を行ったところ、0.17グラムの粉末コカインを発見した。後日、ベリーズ地裁へ出廷した被告は、罰金505ベリーズドル（約3万8千円）が科せられた。

4月6日[大麻草の栽培] 午後7時30分頃、オレンジウォーク町のローズ・アップル通り沿いにある住宅において、大麻草を栽培していたとして男性（27歳）が逮捕された。警察によると、匿名で通報を受けた警察が男性宅を捜査したところ、庭の浄化槽に置かれていた容器の中から大麻草2株を発見した。その後、容疑者は警察署へ連行され、正式に起訴されるまで拘留される。

4月7日【**違法薬物・銃器類の所持**】 午後4時頃、ベリーズ郡ハッティビル村の住宅において、男性（25歳）と交際相手の女性（21歳）が密売目的のマリファナ及び無許可の銃器類を所持していたとして逮捕、起訴された。警察によると、匿名の通報を受けた警察が容疑者宅を捜査したところ、939グラムのマリファナと許可証のない9ミリ口径のグロック拳銃と41発の実弾が装填された弾倉3つを発見した。同日、ベリーズ地裁へ出廷した被告らは、無罪を主張したが、事件の性質上、保釈は認められず次回出廷までベリーズ中央刑務所へ収監されることになった。

4月8日【**違法薬物所持**】 午前6時30分頃、ベリーズ郡レディビル村において、住民の男性（41歳）が規定量以上のマリファナを所持していたとして逮捕、起訴された。警察によると、同村の違法薬物捜査中に警察犬が男性の自宅に反応を示したため、住居内を捜査したところ90グラムのマリファナを発見した。後日、ベリーズ地裁へ出廷した被告は、罰金605ベリーズドル（約4万6千円）が科せられた。

4月8日【**違法薬物の大規模摘発（当館注目）**】 午前10時30分頃、ベリーズ郡ローズ・バンク村の住宅において、マリファナの大規模摘発が行われた。警察によると、以前に麻薬密売の容疑をかけられていたギャングメンバーを追跡していたところ隠れ家を発見、警察当局のK9部隊（ギャング関連捜査・麻薬取締部隊）が突入し、容疑者らを拘束した。この隠れ家からは、実弾12発が装填された拳銃と高級大麻530キログラムが押収され、末端価格は160万ベリーズドル（約1億2千万円）だった。

4月8日【**違法薬物所持**】 午後5時頃、フィリップ・ゴールドソン・ハイウェイのオレンジウォーク郡とベリーズ郡との郡境の検問所において、密売目的のマリファナを所持していたとして男性（43歳）が逮捕された。警察によると、検問所で車両を停車させ、車両検査を行ったところ、車内から463グラムのマリファナの入ったビニール袋を発見した。その後、ベリーズ地裁へ出廷した被告は、早期に有罪を認めたため2,500ベリーズドル（約18万7千円）の保釈金と保証人1名を立てることを条件に保釈された。なお、被告は事件が解決するまで、毎週火曜日と金曜日にサンド・ヒル警察署へ出頭しなければならない。

4月10日【**麻薬密輸機の摘発（当館注目）**】 午後6時頃、コロザル郡ニューランド村において、着陸した麻薬密輸機から少量のマリファナとコカイン550キログラムが押収された。警察によると、事件は同日午前10時30分頃、米国南部合同作戦部隊からコスタリカのサンホセ南西の太平洋上で未確認機を発見したことの情報から始まった。警察当局はベリーズ国防軍と協力し未確認機をレーダー追跡し、ニューランド村にて機体を確保した。この機体にはメキシコ人2名が乗っており、機体の近くにはベリーズ人2名が待機してい

た。この4名は事件の容疑者としてその場で逮捕されている。なお、今回押収した麻薬の推定末端価格は1,160万ベリーズドル（約8億7千万円）だった。

4月20日【違法銃器類の所持】 午後6時頃、ベリーズ郡ローズ・バンク村のマンタ・レイ大通りにおいて、許可証のない銃器類を所持していたとして、男性（19歳）が逮捕された。警察によると、同村でパトロール中だった警察が挙動不審な男性を見かけ、呼び止めて身体検査を行ったところ、9ミリ口径の拳銃と実弾9発が装填された弾倉を発見した。なお、この容疑者は正式に起訴されるまで最寄りの警察署へ拘留されている。

4月23日【違法薬物の密輸】 午後1時頃、フィリップ・ゴールドソン国際空港（PGIA）において、マリファナを密輸したとしてニューヨーク州ブロンクス在住の米国籍女性（35歳）が逮捕、起訴された。警察によると、容疑者の女性が空港の税関で順番待ちをしていたところ、強いマリファナ臭を感じた職員が警察へ通報した。到着した警察が身体検査を行ったところ、規定量以上のマリファナ52グラムが発見された。同日、ベリーズ地裁へ出廷した被告は、当初、罰金3,000ベリーズドルが命じられたが、早期に罪を認めことにより情状酌量され、罰金1,500ベリーズドル（約11万2千円）が科せられた。

4月25日【違法薬物所持】 時刻不明、オレンジウォーク町において、コカインを所持していたとして同町に住む男性（33歳）が逮捕された。警察によると、匿名の情報提供により、男性を捜査したところ、コカイン0.6グラムを発見した。この容疑者は、なお、正式に起訴されるまで最寄りの警察署へ拘留されている。

4月28日【違法銃器類の所持】 時刻不明、ベリーズ市キングスパークにある住宅において、許可証のない銃器類を所持していたとして、19歳から29歳の男性4名を逮捕した。警察によると、匿名の情報提供によりこの住宅を捜査したところ、9ミリ口径の拳銃と実弾15発を発見した。その場にいた4人に対して許可証の提示を求めたところ、誰も許可証を所持していなかったためその場で逮捕し、警察署へ連行した。なお、この容疑者らは正式に起訴されるまで拘留されている。

【その他事件・事故関連】

4月6日【暴力事件】 午後9時30分頃、スタンクリーク郡プラセンシア村（当国のリゾート地の一つ）のナイトバーにおいて、男女数人が負傷する暴行事件が発生した。警察によると、同店で男女グループが喧嘩しているとの通報を受け警察が現場へ駆けつけると、男女2名ずつ計4名のグループが負傷しているのを発見した。事件の詳細は明かされておらず、

負傷者らは警察によりプラセンシア診療所へ搬送され治療を受けた。

4月22日【**人身売買未遂**】 時刻不明、スタンクリーク郡サン・ロマン村付近において、行方不明だったグアテマラ国籍の少女（14歳）が発見された。警察によると、被害にあった少女は、今年1月にグアテマラのペテン県の自宅から行方不明となり、その後100日以上ベリーズに監禁されていた。ベリーズ警察はグアテマラ警察と協力し、被害少女のケアと帰国のための支援を開始した。なお、この事件の容疑者男性は特定されており、人身売買の容疑により警察が行方を追っている。

4月24日【**暴行事件**】 午後10時頃、スタンクリーク郡プラセンシア村において、米国人観光客の女性（28歳）を暴行したとして、近隣の村に住む男性（19歳）が逮捕、起訴された。警察によると、被害女性は日中のツアーでこの男性と知り合い、レストランバーで食事を共にしたあと、男性がホテルの部屋まで送ると申し出てたため、ホテルまで一緒に歩いていた途中、薄暗い浜辺の道で女性を暴行した。後日、通報を受けた警察が容疑者を拘束し、正式に起訴されるまで警察署に拘留している。